

主催：「原子力の社会的リスク情報コミュニケーションシステム」プロジェクト
(独立行政法人 原子力安全基盤機構安全基盤調査研究)
共催：シンビオ社会研究会
(京都大学大学院エネルギー科学研究科)



公開ワークショップ

「安全・安心のための リスク管理・倫理と コミュニケーション」

日時／
2004年 **12月8日**(水)
10:00 ~ 18:00

会場／ **京大會館** 101号室
京都市左京区吉田河原町15-9
<http://www.kyodaikaikan.jp/>

問い合わせ／
シンビオ社会研究会事務局 (谷 友美)
京都大学大学院エネルギー科学研究科内
電話&ファックス 075-753-9217
symbio@uji.energy.kyoto-u.ac.jp

(要申込)

**参加
無料**

申込書ダウンロード
<http://sym-bio.energy.kyoto-u.ac.jp/sym-bio/>

■ **開会の辞** 10:00~10:30 今年度リスクプロジェクト取り組みの全般紹介 総合司会: **吉川 榮和** (京都大学教授 シンビオ社会研究会主宰)

1 企画セッション 10:30~12:00

「持続可能な開発とコミュニケーションを考える」

- ・ オーガナイザ: **秋元 真理子** ((株)旭リサーチセンター)
- リテラシーフリーなコミュニケーションへの取り組み **秋元 真理子** ((株)旭リサーチセンター)
伊藤 京子(大阪大学大学院基礎工学研究科)、**日比野 愛子**(京都大学大学院人間・環境学研究科)
- リスク情報共有のための発展的コミュニケーションモデル **中村 真理子**(NTT環境エネルギー研究所)

2 特別講演 13:00~14:15

「安全で安心な市民型社会を志向した都市複合リスクのガバナンスと総合的な災害リスクマネジメントへ向けて : 21世紀リスク実践科学の使命」

- ・ 京都大学防災研究所総合防災研究部門 教授 **岡田 憲夫**

3 企画セッション 14:30~16:00

「原子力発電所における安全文化醸成のための現場研究」

- ・ オーガナイザ: **杉万 俊夫**(京都大学大学院人間・環境学研究科)
- 原子力発電所タービン保守部門における現場研究から **杉万 俊夫**、**福井 宏和**(INSS)
- 東電問題以降の再生に向けた活動とトレーニングの取り組み **田南 達也**(東京電力)
- ・ コメンテータ: **牧野 真臣**(JNES)、**高野 研一**(電力中央研究所)

4 企画セッション 16:10~17:40

「HLW処理処分問題への社会的協力行動促進のためのWeb実験」

- ・ オーガナイザ: **若林 靖永**(京都大学大学院経済学研究科)
- 実験計画の全般説明 **若林 靖永**(京都大学)
- 環境倫理と規範活性化理論の適用 **久郷 明秀**(関西電力)
- WEB実験の速報 **下田 宏**、**今木 智隆**、**宇田 旭伸**(京都大学大学院エネルギー科学研究科)、**伊藤 京子**(大阪大学大学院基礎工学研究科)
- 環境倫理の観点からのコメント **品川 哲彦**(関西大学文学部教授、学長補佐)

■ **閉会の辞** 17:40~18:00

■ **懇親会** (於: 京大會館) 18:15~

この度、当プロジェクト研究代表者の吉川榮和先生が、経済産業省より、平成16年度原子力安全功労者表彰を受けられました。受賞のお祝いを兼ねて懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

プロジェクトメンバー 下田 宏